

第 50 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

学園祭総括報告書

目的の評価

目的の評価補足資料

決算報告書

第 50 回雙峰祭参加者アンケート

学園祭実行委員会

第 50 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

総括報告

I. 概要

II. 詳細

I.	概要	1
A.	名称.....	2
B.	目的.....	2
C.	テーマ	2
D.	日程.....	2
E.	会場.....エラー! ブックマークが定義されていません。	
F.	主催・後援	3
G.	運営組織.....	4
H.	企画.....	4
II.	詳細	5
A.	委員長団.....	5
B.	財務局	5
C.	総務局	5
D.	広報宣伝局	5
E.	渉外局	6
F.	推進局	7
G.	総合計画局	7
H.	情報メディアシステム局	8
I.	ステージ管理局.....	9
J.	本部企画局	10
K.	案内所運営部会	11

I. 概要

A.

第 50 回筑波大学学園祭「雙峰祭」

B. 目的

学術、文化ともに多様性をもつ筑波大学において、学生ひとりひとりや様々な団体の魅力を内外に発信する機会を設け、50 回にわたる雙峰祭で受け継がれてきた伝統や文化の価値を再認識するとともに、つくばのこれからの未来を「そうぞう」する場とする。

C. テーマ

全学的な投票によって今年度のテーマは「筑ろう。」に決定した。「雙峰祭は多くの人によって『作り』上げられている」という意味である本テーマには、筑波大学ひいてはつくばという地を見つめ直すことで魅力を再発見し、発信をすることで多くの人につくばを好きになって欲しいという思いが込められている。

D. 日程

準 備 日	: 2024 年 11 月 2 日(土)	
前 夜 祭	: 2024 年 11 月 2 日(土)	15:30～20:40
本 祭 1 日 目	: 2024 年 11 月 3 日(日)	10:00～20:00
本 祭 2 日 目	: 2024 年 11 月 4 日(月)	10:00～18:00
後 夜 祭	: 2024 年 11 月 4 日(月)	17:50～20:40
片 付 け 日	: 2024 年 11 月 5 日(火)	

E. 会場

1. 屋外

第二エリア、第三エリアから体育・芸術エリア(以下、体芸エリア)までのペデストリアンデッキ沿いを会場として使用する。

ただし、上記エリアのうち、以下を緊急避難場所としても使用する。

- ☐ 第三エリア北側駐車場
- ☐ 本部棟北側駐車場
- ☐ 人間系学系棟東広場
- ☐ 本部棟南側駐車場
- ☐ 総合研究棟 B 東広場
- ☐ 大学会館北側駐車場
- ☐ ミューズガーデン
- ☐ 工房棟南側広場

- ☐ 陸上競技場

2. 屋内

- ☐ 1A・1B・1C・1D・1E・1H 棟
☐ 2A・2B・2C・2D 棟
☐ 3A・3B 棟
☐ 5C 棟
☐ 6A・6B 棟
☐ 大学会館
☐ 開学記念館
☐ 中央図書館
☐ 総合交流会館

F. 主催・後援

主催 全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議(以下、全代会)

後援 筑波大学紫峰会基金

一般社団法人茗溪会

筑波大学基金

つくば市

G. 運営組織

学園祭を安全かつ円滑に実行することを目的とした組織として学園祭実行委員会(以下、学実委)を組織する。学園祭全体を総括する責任者として委員長を置き、そのもとに以下の局・専門部会を置く。(業務内容の詳細は「エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。」)

- ☐ 委員長団
- ☐ 財務局
- ☐ 総務局
- ☐ 広報宣伝局
- ☐ 渉外局
- ☐ 推進局
- ☐ 総合計画局
- ☐ 情報メディアシステム局
- ☐ ステージ管理局
- ☐ 本部企画局
- ☐ 案内所運営部会

また、学実委は必要と認めた際に、本学の学生及び教職員等の学実委外の人員をサポートメンバーとして登録し、学実委の業務を委託することがある。

H. 企画

当日行われる模擬店、イベント等を指す。学実委が中心となって行う委員会開催企画、ステージを使用するステージ企画、委員会開催企画・ステージ企画に該当しない一般企画に分類する。(詳細は「エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。 エラー! 参照元が見つかりません。エラー! 参照元が見つかりません。」)

II. 詳細

A. 委員長団

7. 参加者を対象としたアンケートの実施

参加者アンケートを実施し、1,814 件の回答を得た。内容については「目的の評価補足資料」を参照。

8. 企画団体を対象としたアンケートの実施

企画者を対象としたアンケートを「雙峰祭オンラインシステム」にて公開し、回答を得た。

B. 財務局

2. 金銭管理

学園祭の準備を行うための金銭全般を管理した。監査として、委員長補佐による内部監査を一度行った。また、全代会学内行事委員会による外部監査を行う

C. 総務局

5. 企画団体への連絡・指示

(1) 企画団体責任者連絡集会の実施

学園祭実行計画書には「全 5 回のうち、4 回は学園祭の当日よりも前に実施し、学園祭終了後に 1 回実施する。」と記載したが、学園祭終了後に実施予定だった 1 回については、連絡事項が少ないことから実施せず、全 4 回の開催となった。

D. 広報宣伝局

2. 広報宣伝活動

(5) 学内での広報宣伝活動

④ カウントダウン看板の設置

(a) 設置期間

10 月 19 日(土)から設置予定であったが、10 月 25 日(金)に設置した。原因とし

て大判印刷機の不調が挙げられる。

3. 学園祭公式マスコットキャラクターの管理

マスコットキャラクターの周知を目的に、新たな取り組みとして「そばたん展」を開催した。

開催場所：筑波大学附属図書館 中央図書館 本館 2F「図書館ギャラリーゾーン」

開催期間：令和6年5月13日(月)～5月17日(金) 8:30～22:00

主 催：筑波大学学園祭実行委員会

展示作品：15点

5. オフィシャルポスターの制作・管理

(2) 配布

8月中旬から10月上旬にかけて学内外に配布する予定であったが、10月初旬から順次配布した。遅れた原因として当初の無理な期間設定と、ポスター制作の遅延とが挙げられる。来年度は9月から順次配布することを目指す。

6. 雙峰祭公式パンフレットの制作・管理

(2) 配付・販売

前夜祭から本祭までの3日間で3,812部を販売した。

7. 雙峰祭公式リーフレットの制作・管理・配布

12,000部を制作する予定であったが、5,800部しか制作することができなかった。原因として、印刷に必要な時間とスケジュールの見込みが誤っていたことが挙げられる。来年度にリーフレットを制作する場合は印刷を外注することを検討したい。

E. 渉外局

1. 資金調達

企業等から学園祭運営に必要な資金の提供を受けた。同時に、企業等の団体や本学の教職員・役員に学園祭開催についての周知を行った。

(1) 一般協賛

企業等の団体に対して学園祭への協賛金の納入を依頼した。協賛企業の広告を各媒体にて掲載したほか、雙峰祭公式Webサイトに協賛企業の一覧を掲載した。

(2) 個人協賛

個人から学園祭に対する協賛金の納入を受け付けた。協賛への謝礼として返礼品

を送呈するほか、雙峰祭公式 Web サイトに協賛者の氏名を掲載した。

(3) 構成員援助金

本学の教職員・役員に対して、学園祭への資金援助を依頼した。教員に対しては、主に会議にて同席もしくは資料を配布して寄付をお願いした。また、援助金は振込での受取と研究室に直接赴いての受取を行った。事務職員・役員に対しては、各事務室等を訪問して寄付をお願いした。

2. 物品調達

企業等の団体から、学園祭運営に必要な物品の提供・貸出を受けた。同時に、企業等の団体へ学園祭開催についての周知を行った。

全国の様々な企業に協賛を依頼し、提供を受けた物品は主に、委員会開催企画である福引所にて景品として使用した。

3. 福引所運営

来場者アンケートに回答した来場者を対象に福引所を運営した。二日間の開催期間に、多くの人が足を運び、福引所を楽しんだ。

F. 推進局

1. 保健衛生の管理

本祭 1 日目において、保健所の指導があったにもかかわらず生焼けと思われる食品を提供したこと、提供するプラスチック容器が熱で溶けているとの報告が上がったことから、食品衛生・食中毒の観点から該当企画を企画中止とした。

(5) 水道の管理

③ 仮設水道の設置

第 3 エリア丸善横の散水栓が使用できなかったため、この箇所に仮設水道は設置していない。

(6) 食品の回収

準備日・本祭 1 日目の企画準備時間終了後に、食品を企画実施場所に放置していた企画に対し、警告書を発行した上で、食品を回収・保管した。衛生上問題がある食品については、企画に通知をした上で廃棄をした。

G. 総合計画局

1. 会場配置計画

(1) 企画数制限の実施

応募した団体数が実施可能数を超過したため、屋内・屋外で企画数を制限した。

(2) 学園祭の実施場所及び実施日程の決定・管理

エリア支援室からの要望で、直前に企画の実施場所の変更を行った。

(3) 教室等の解錠及び施錠の管理

芸術祭実行委員会からの要請により、5C 棟・6A 棟・6B 棟・工房棟のいくつかの教室を追加的に解錠及び施錠した。

2. 電気計画

企画が使用した機器の老朽化が原因で、使用していた電気系統のブレーカーが落ちた。近鉄ファシリティーズ株式会社により復旧された。

(1) 仮設コンセント

仮設コンセントを以下の場所に設置した。

☐ 1E 棟 4 階

3. 机椅子移動計画

夜間、机椅子等の備品を夜露から保護する対策を取っていない企画に対して注意を行った。

4. 美化計画

燃えるごみは約 4t、ペットボトルは約 100kg が学園祭期間中に処理された。

5. 総合交通計画

(1) 駐輪規制

11 月 1 日(金)18:00 から 11 月 2 日(土)9:00 までは実施しなかった。

H. 情報メディアシステム局

3. 各種映像の制作

次の映像を作成した。

- ☐ 各種手続きや申請手順の説明に用いる動画
- ☐ 新歓活動に使用する動画
- ☐ 委員会開催企画の広告のための動画
- ☐ 雙峰祭 50 周年企画で使用する動画

- ☐ TSUKUBA COLLECTION 2024 にて使用する動画
- ☐ 後夜祭において使用するダイジェスト動画

4. UNITED ステージ企画・前夜祭・後夜祭の生配信

前夜祭については雨天だったため、ステージの配信は行わず事前収録した TSUKUBA COLLECTION 2024 の映像及び企画から募集した CM 動画を配信した。

I. ステージ管理局

4. 前夜祭における各ステージの管理・運営

学園祭実行計画書では 11 月 2 日(土)の UNITED ステージにて前夜祭の管理・運営を行うとしていたが、雨天のため中止した。

5. 本祭における各ステージの管理・運営

(1) 大学会館

11 月 3 日(日)11:00~12:00 に国際会議室で筑峰会が会議及び写真撮影を実施した。これに伴い多少の混乱が発生したため、雙峰祭関係者、会議参加者、一般来場者を区切るように動線の整理を行った。

企画番号 218「ギター・マンドリン部学園祭コンサート」で、不審者による以下の行為を確認した。

- ☐ パフォーマンス中に 2 度叫ぶ。
- ☐ 終演直後の退場誘導中に無理やりマンドリンを取り、数度弾く。
- ☐ 終演約 10 分後、自身を当該部の OB と名乗り実委人に接触し、ギター・マンドリン部の控室への案内を希望する。しかし、現役部員の確認が必要である旨を伝えると、断られ立ち去る。

これらの行為による部員や楽器への損害は発生せず、不審者はその後大学会館屋外に出た後、姿が確認されていない。このため、特別な処置は行っていない。

その他について、学園祭実行計画書に従い問題なく実施している。

7. 雨天時対応

前夜祭は、雨天のため Public Address¹と協議をし、中止決定を下した。

9. 警備

¹ 一般的には電氣的な音響拡声装置であるが、学園祭ではそれに携わる人のこと(ステージの音響や照明等を指揮・操作するエンジニア)を指す。

(1) 雑踏事故防止に対して

学園祭実行計画書では、雑踏事故防止のため、石の広場のペDESTリアンデッキにトラテープ等で通路を作成するとしていたが、当日はコーン・コーンバーを使用し、学生生活課協力のもと来場者用の動線を確保した。

J. 本部企画局

1. 学術企画部門

(1) 受験応援

本祭 2 日間合わせて 450 名ほどが相談会に参加した。

(2) つくばイチ受けたい授業

本祭 2 日間合わせて 1,280 名が参加した。

(3) 実験教室

本祭 2 日間合わせて 1,600 名ほどが参加した。

2. 来場者参加型企画部門

(1) 体験型脱出ゲーム

本祭 2 日間合わせて 127 組・430 名ほどが参加した。

企画参加者へ紙媒体でのアンケートを実施し、全体の満足度は 5 点満点中 4.7 点を記録した。

(2) 樽酒振る舞い

前夜祭にて開催予定であった鏡開きは、雨天によりステージ企画が中止となったため、実施しなかった。また、一般企画も中止となったため、集客が見込めないと判断し、お酒の提供も行わなかった。

本祭 2 日間は、合わせて 1,500 名ほどにお酒を提供した。酒蔵から協賛してもらったお酒は全て本祭 2 日間で配りきることができた。

3. 夜祭企画部門

(1) TSUKUBA COLLECTION 2024

雨天によるステージ企画中止をうけて、前夜祭でのパフォーマンスは事前に収録した映像を配信していた。また、一部映像は企画の YouTube チャンネルおよび SNS にて公開した。

(3) 夜祭パフォーマンスショー

前夜祭は雨天によるステージ企画中止をうけて、実施しなかった。後夜祭は予定通り実施した

(4) 雙峰祭グランプリ

前夜祭と本祭 2 日間で合計 1,474 票の投票がされた。

ステージ企画部門と一般企画部門の 2 部門を設け、それぞれの部門で最優秀賞・学生賞・優秀賞(2 企画)の計 8 企画を表彰した。

複数部門での受賞を制限したため、昨年度と比較して受賞団体が増えた。

4. 雙峰祭 50 周年企画部門

(2) 雙峰祭 50 周年特別ステージ企画

有料エリアのチケットは販売枚数 600 枚が全て完売となった。後方の無料エリアにも多くの人が集まり、盛り上がりを見せた。

K. 案内所運営部会

7. 雨天時・強風時の対応

準備日及び前夜祭の雨天が事前に見込まれたため、前日 12:00 時点で前夜祭での一般企画の中止を決定し、雙峰祭オンラインシステム・雙峰祭公式 Web サイト・雙峰祭公式 SNS によって、企画団体と来場者に周知した。